

令和6年度

富山県民生涯学習カレッジ運営会議

[資 料]

I 令和6年度実績・令和7年度予定

(P1～8)

II 富山県民生涯学習カレッジの運営に係る現状と課題

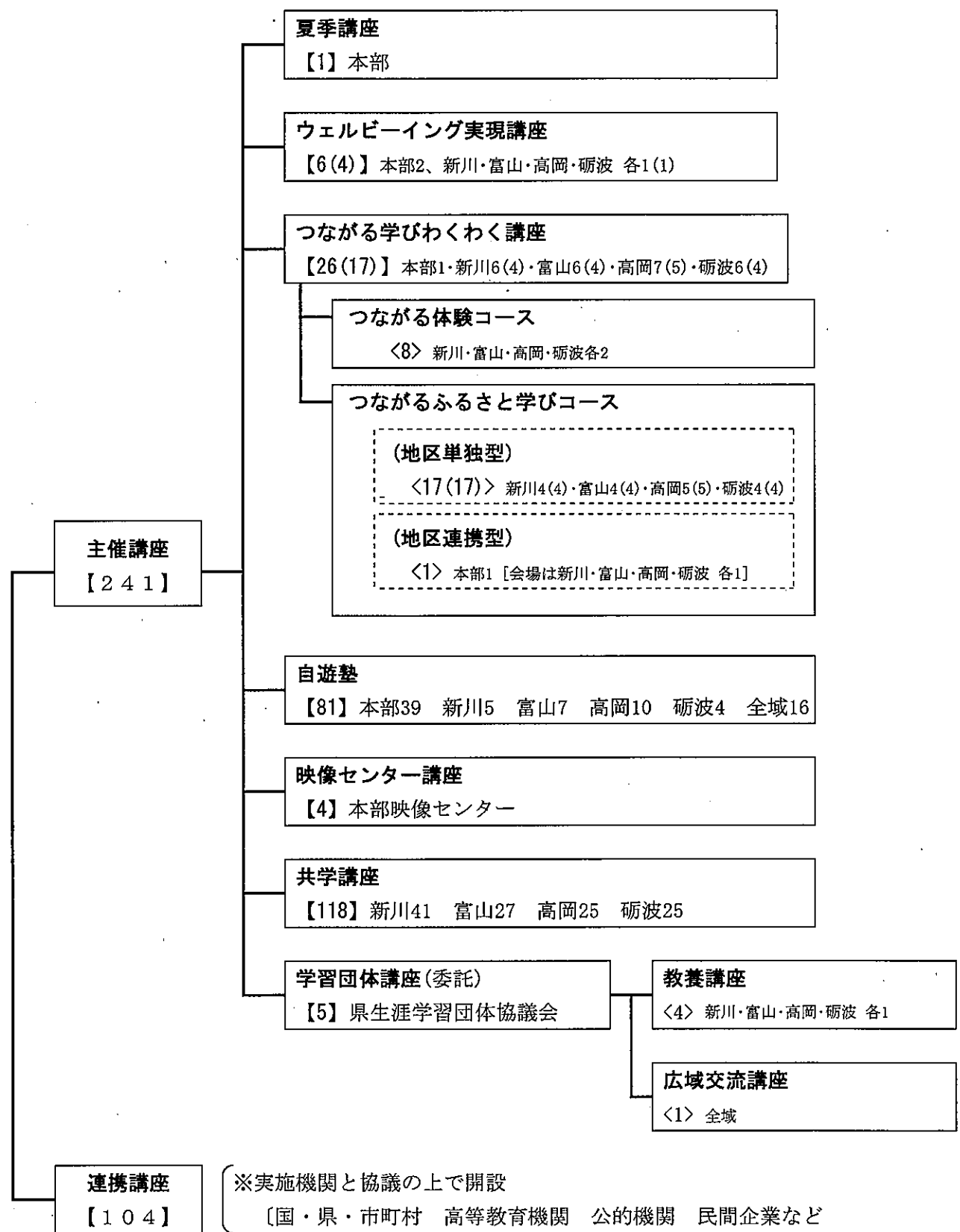
(P9～13)

参考資料 富山県民生涯学習カレッジの概要

I 令和6年度実績・令和7年度予定

1 令和6年度 実施講座

※ 講座数の()は内数で、対面受講に並行してオンライン自宅受講を行う講座数



2 過去3年間の講座数・受講者数の推移

No	年 度		令和4		令和5		令和6	
	講 座 名		講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数
1	夏季講座		1	479	1	484	1	582
2	人生100年時代 生き方講座		3	689				
3	ウェルビーイング実現講座（大型）				3	1,115	2	695
4	人生100年時代 特別講座		4	135				
5	ウェルビーイング実現講座（通年）				4	139	4	149
6	つながる学びわくわく講座		28	742	28	889	26	865
7	自遊塾		76	917	83	1,138	81	1,117
8	映像センター講座		4	56	4	67	4	57
9	共学講座		124	599	120	620	118	627
10	学習団体講座		5	335	5	448	5	443
	小 計		245	3,952	248	4,900	241	4,535
11	連携講座	実施機関数	19		18		17	
		講座数・定員	117	6,828	131	6,464	104	6,272
	合 計		362	10,780	379	11,364	345	10,807

3 令和6年度 実績

(1) 講座関係

項目	実績						
夏季講座	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年8月31日(土)にジャーナリストの池上彰氏を招き、「ニュースから世界を読む」と題して講座を開催した。 <table border="1"> <tr> <td>受講者数</td> <td>582名</td> </tr> </table>	受講者数	582名				
受講者数	582名						
ウェルビーイング 実現講座(大型)	<ul style="list-style-type: none"> 「ウェルビーイング」をテーマに著名人の講義を聴き、これからの時代の生き方を大きな視点で考える講座を開講した。 令和6年度は、10月5日(土)に元陸上選手の為末大氏、11月17日(日)に俳優の紺野美沙子氏を講師として招いて開催した。 <table border="1"> <tr> <td>講座数</td> <td>2講座</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>695名</td> </tr> </table>	講座数	2講座	受講者数	695名		
講座数	2講座						
受講者数	695名						
ウェルビーイング 実現講座(通年)	<ul style="list-style-type: none"> 地域、健康、居住、人間関係、自然など各分野の観点から、ウェルビーイングを学ぶ講座を各地区センターで開催した。 全講座をオンラインで配信した。 <table border="1"> <tr> <td>講座数</td> <td>4講座(うちオンライン配信4講座)</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>149名(うちオンライン受講15名)</td> </tr> </table>	講座数	4講座(うちオンライン配信4講座)	受講者数	149名(うちオンライン受講15名)		
講座数	4講座(うちオンライン配信4講座)						
受講者数	149名(うちオンライン受講15名)						
つながる学び わくわく講座	<ul style="list-style-type: none"> 体験と学びを通した「つながる楽しさ」を提供する講座として、「つながる体験コース」および「つながるふるさと学びコース(地区単独型・地区連携型)」を開催した。 「つながるふるさと学びコース(地区単独型)」は、すべてオンラインで配信し、自宅受講が可能な受講形態とした。 <table border="1"> <tr> <td>講座数</td> <td>26講座(うちオンライン配信17講座)</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>865名(うちオンライン受講131名)</td> </tr> </table>	講座数	26講座(うちオンライン配信17講座)	受講者数	865名(うちオンライン受講131名)		
講座数	26講座(うちオンライン配信17講座)						
受講者数	865名(うちオンライン受講131名)						
共学講座	<ul style="list-style-type: none"> 高校の授業の一部の科目を、社会人向けに提供し、受講者が高校生と共に学んだ。 <table border="1"> <tr> <td>講座数</td> <td>118講座</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>627名</td> </tr> </table>	講座数	118講座	受講者数	627名		
講座数	118講座						
受講者数	627名						
映像センター講座	<ul style="list-style-type: none"> 映像制作セミナー、著作権講座などを開催した。 <table border="1"> <tr> <td>開催数</td> <td>4講座</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>57名</td> </tr> </table>	開催数	4講座	受講者数	57名		
開催数	4講座						
受講者数	57名						
自遊塾	<ul style="list-style-type: none"> 公募によるボランティア講師(県民教授)が講座を開設し、塾生とともに学びあう講座を開催した。 <table border="1"> <tr> <td>県民教授</td> <td>61名</td> </tr> <tr> <td>開催講座数</td> <td>81講座</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>1,117名</td> </tr> </table>	県民教授	61名	開催講座数	81講座	受講者数	1,117名
県民教授	61名						
開催講座数	81講座						
受講者数	1,117名						
学習団体講座	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習協議団体に委託し、各地区の教養講座(4講座)と全県対象の広域交流講座(1講座)の計5講座を開講した。 <table border="1"> <tr> <td>受講者数</td> <td>443名</td> </tr> </table>	受講者数	443名				
受講者数	443名						

項目	実績						
連携講座	・市町村・大学・企業など関係機関が、県民カレッジと連携して講座を開催した。修了者には県民カレッジの単位を認定している。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>連携機関数</th> <th>開催講座数</th> <th>定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17 機関</td> <td>104 講座</td> <td>6,272 名</td> </tr> </tbody> </table>	連携機関数	開催講座数	定員	17 機関	104 講座	6,272 名
	連携機関数	開催講座数	定員				
17 機関	104 講座	6,272 名					

(2) 事業関係

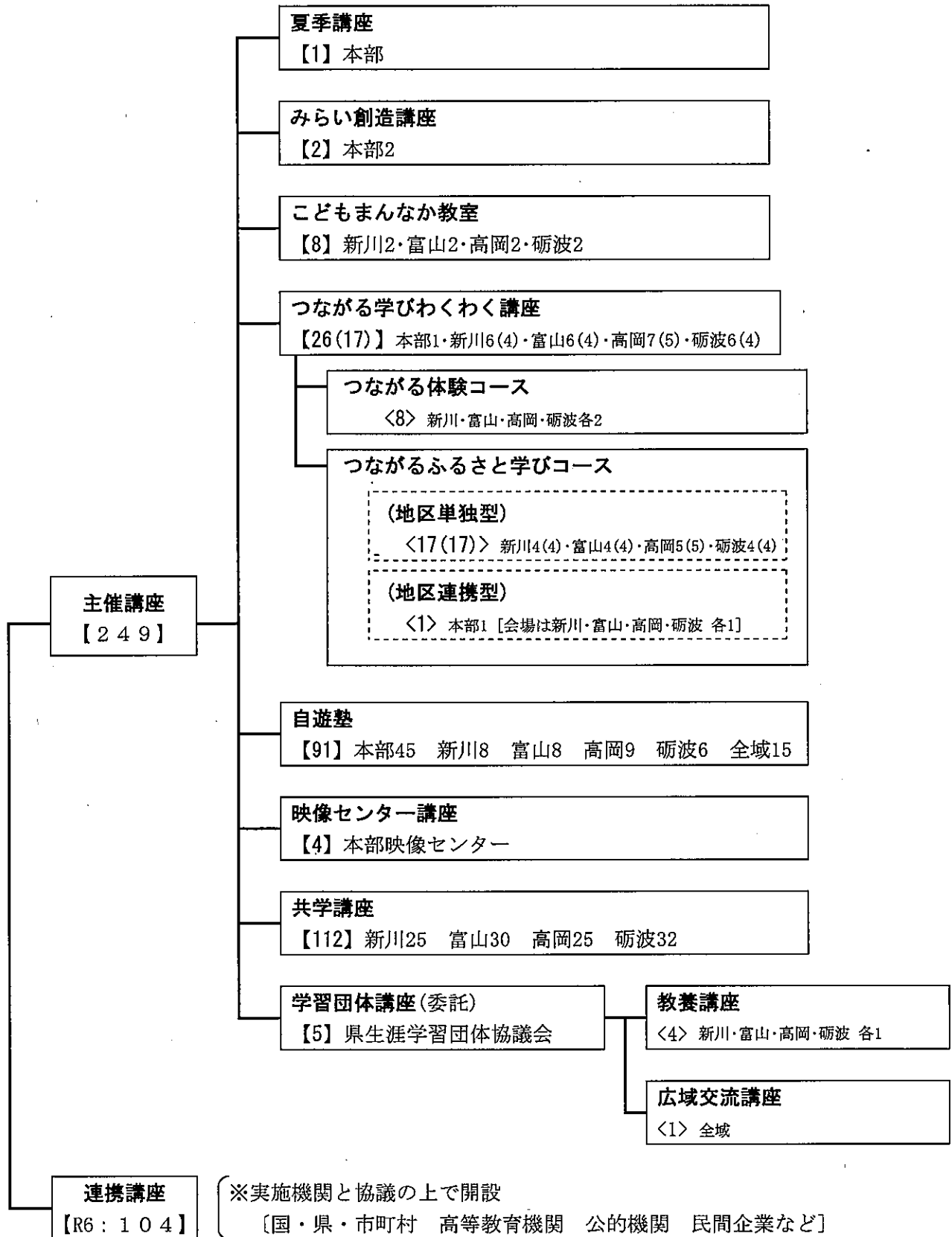
項目	実績																												
学習情報提供	<p>・富山県生涯学習情報提供システム(とやま学遊ネット)を運用し、県民に各種講座等の学習機会・講師・学習団体など、生涯学習情報を提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4(年間)</th> <th>R5(年間)</th> <th>R6(4~1月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検索件数</td> <td>929,419 件</td> <td>858,257 件</td> <td>(787,598 件)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R4(年間)	R5(年間)	R6(4~1月)	検索件数	929,419 件	858,257 件	(787,598 件)																				
年度	R4(年間)	R5(年間)	R6(4~1月)																										
検索件数	929,419 件	858,257 件	(787,598 件)																										
学習相談	<p>・各種講座の受講相談や、講師照会・講座内容の企画相談、視聴覚教育・教材の利用、映像制作等についての県民からの相談に対応した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4(年間)</th> <th>R5(年間)</th> <th>R6(4~1月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習相談件数</td> <td>13,387 件</td> <td>13,984 件</td> <td>(9,501 件)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R4(年間)	R5(年間)	R6(4~1月)	学習相談件数	13,387 件	13,984 件	(9,501 件)																				
年度	R4(年間)	R5(年間)	R6(4~1月)																										
学習相談件数	13,387 件	13,984 件	(9,501 件)																										
本部学遊祭	<p>・令和6年10月5(土)に開催した学遊祭は、県民カレッジ、生涯学習団体協議会、雷鳥会が共催し、県民に対して学習の成果を発表した。ホールでは、「ウェルビーイング実現講座」も行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>578 名</td> <td>979 名</td> <td>1,137 名</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R4	R5	R6	参加者数	578 名	979 名	1,137 名																				
年度	R4	R5	R6																										
参加者数	578 名	979 名	1,137 名																										
地区学遊祭・キャンパスフェスティバル	<p>・各地区センター講座の受講者等が、日頃の学習の成果を発表することで交流した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,215 名</td> <td>2,340 名</td> <td>2,482 名</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R4	R5	R6	参加者数	1,215 名	2,340 名	2,482 名																				
年度	R4	R5	R6																										
参加者数	1,215 名	2,340 名	2,482 名																										
カレッジ叢書	<p>・令和6年度夏季講座(池上彰氏)を叢書118号にまとめ、県内の学校や図書館等に配布する予定である。</p>																												
学習活動支援サービス	<p>・県民カレッジの講座受講による修得単位や、学習履歴を記録する「県民カレッジカード」を発行して受講意欲を高め、学習活動を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>R4(1月末現在)</th> <th>R5(1月末現在)</th> <th>R6(1月末現在)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">カレッジカード</td> <td>総数</td> <td>57,913 名</td> <td>58,414 名</td> <td>58,871 名</td> </tr> <tr> <td>所有者数</td> <td>うち新規 470 名</td> <td>501 名</td> <td>457 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「マイページ会員」登録受講者を対象に、インターネット上で主催講座の申込みや学習履歴の確認ができるサービスを提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>R4(1月末現在)</th> <th>R5(1月末現在)</th> <th>R6(1月末現在)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">マイページ</td> <td>総数</td> <td>1,423 名</td> <td>1,583 名</td> <td>1,734 名</td> </tr> <tr> <td>会員数</td> <td>うち新規 180 名</td> <td>160 名</td> <td>151 名</td> </tr> </tbody> </table>	年度		R4(1月末現在)	R5(1月末現在)	R6(1月末現在)	カレッジカード	総数	57,913 名	58,414 名	58,871 名	所有者数	うち新規 470 名	501 名	457 名	年度		R4(1月末現在)	R5(1月末現在)	R6(1月末現在)	マイページ	総数	1,423 名	1,583 名	1,734 名	会員数	うち新規 180 名	160 名	151 名
年度		R4(1月末現在)	R5(1月末現在)	R6(1月末現在)																									
カレッジカード	総数	57,913 名	58,414 名	58,871 名																									
	所有者数	うち新規 470 名	501 名	457 名																									
年度		R4(1月末現在)	R5(1月末現在)	R6(1月末現在)																									
マイページ	総数	1,423 名	1,583 名	1,734 名																									
	会員数	うち新規 180 名	160 名	151 名																									

(3) 映像活用推進関係

項 目	実 績												
<p>ふるさととやまの映像の制作と配信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土学習教材の制作・配布 作品数 57 作品 DVD教材「昆布ロード 富山人の歩み」 ・DVD教材「旬の映像」「映像でつづる思いでの富山」の制作 富山の四季、祭り、文化等をテーマとした映像作品 作品数 107 作品 ・「とやまデジタル映像ライブラリー」にてネット配信 												
<p>優秀映像鑑賞推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・優秀映画上映会の開催 集会等で利用可能の上映権付き映像作品を上映 <ul style="list-style-type: none"> ○わくわくシアター（ハイビジョン学習室） ○おやこシアター（ハイビジョン学習室） ○学遊祭映像上映（教育文化会館集会室） ○カレッジわくわくシアター（各地区センター） <table border="1" data-bbox="531 763 1238 898" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>71 回(1月末現在)</td> <td>1,389 名(1月末現在)</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>80 回</td> <td>1,586 名</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(学遊祭映像上映は除く)</p>	年度	開催数	参加者数	R6	71 回(1月末現在)	1,389 名(1月末現在)	R5	80 回	1,586 名			
年度	開催数	参加者数											
R6	71 回(1月末現在)	1,389 名(1月末現在)											
R5	80 回	1,586 名											
<p>映像の貸出等活用支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・所蔵映像、機材の無料貸出 ・「県映像センター利用カード」の発行 <table border="1" data-bbox="432 1037 1342 1167" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>映像貸出件数</th> <th>視聴者数</th> <th>機材貸出件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>1,483 件(1月末現在)</td> <td>23,148 名(1月末現在)</td> <td>220 件(1月末現在)</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,241 件</td> <td>36,296 名</td> <td>271 件</td> </tr> </tbody> </table>	年度	映像貸出件数	視聴者数	機材貸出件数	R6	1,483 件(1月末現在)	23,148 名(1月末現在)	220 件(1月末現在)	R5	1,241 件	36,296 名	271 件
年度	映像貸出件数	視聴者数	機材貸出件数										
R6	1,483 件(1月末現在)	23,148 名(1月末現在)	220 件(1月末現在)										
R5	1,241 件	36,296 名	271 件										



4 令和7年度 実施講座

※ 講座数の()は内数で、対面受講に並行してオンライン自宅受講を行う講座数



5 令和7年度 予定

(1) 講座関係

項 目	予 定
夏季講座	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野の著名な講師を招き、講演会形式の講座を開講する。 ・令和7年度は8月30日(土)に開催する予定である。
 未来創造講座	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の具体的な体験から、未来の豊かな人生のあり方を展望できる講演会形式の講座を開講する。 ・令和7年度は10月4日(土)および1月31日(土)に開催する予定である。
 こどもまんなか教室	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生とその家族が地域の魅力を体験しながら学ぶ機会とする。 ・各地区センターにおいて、独立した講座を年2～3回開講する。
つながる学び わくわく講座	<ul style="list-style-type: none"> ・体験と学びを通じた「つながる楽しさ」を提供する、以下の26講座を開講する。 ○「つながる体験コース」(8講座) 現地研修を取り入れたり、映像を視聴したりして、ふるさとの姿に触れることを重視する。 ○「つながるふるさと学びコース(地区単独型)」(17講座) 地方創生の観点から、地域コミュニティの再生、地域の歴史と文化の見直し、自然保護などを扱う。グループ協議や意見発表会、作品発表等も取り入れ、交流型・発信型の講座とする。本コースすべての講座をオンラインで配信し、自宅受講も可能とする。 ○「つながるふるさと学びコース(地区連携型)」(1講座) ふるさと・郷土史の調査研究・普及啓発等の取り組みをしている方を講師として招き、オンライン配信も活用してその取り組みを広く県内全域に伝える。
共学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・4地区センター合わせ、112講座を開講する予定である。
映像センター講座	<ul style="list-style-type: none"> ・映像センター講座を4講座開講する予定である。
自遊塾	<ul style="list-style-type: none"> ・91講座の塾生を募集する予定である。
学習団体講座	<ul style="list-style-type: none"> ・教養講座4講座、広域交流講座1講座の計5講座を開講する予定である。
連携講座	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関へ連絡し、今年度と同程度の講座連携を目指している。

(2) 事業関係

項目	予定
本部学遊祭	・10月4日(土)に、開催する予定である。
地区学遊祭・ キャンパス フェスティバル	・今年度同様に、次の期日に開催する予定である。 【新川】10月25日(土) 【富山】11月1日(土) 【高岡】10月24日(金)・25日(土) 【砺波】11月1日(土)
カレッジ叢書	・令和7年度における大型講座についても、例年と同様に発行・配布する予定である。
学習活動支援 サービス	・受講者へサービスの紹介を行い、「県民カレッジカード」の所有者や新とやま学遊ネットにおける「マイページ会員」の増加を図る。

(3) 映像活用推進関係

項目	予定
ふるさととやまの 映像の制作と配信	・郷土学習教材を制作・配布 ・貴重映像の保存・活用推進 ・「とやまデジタル映像ライブラリー」の更新
優秀映像鑑賞 推進	・上映会(無料)を年間、約70回開催予定である。
映像の貸出等活用 支援	・「県映像センター利用カード」の発行 ・貸出が増えるようタイムリーな広報活動に努める。 ・映像工房の利活用促進に努める。

II 富山県民生涯学習カレッジの運営に係る現状と課題

1 学習情報の収集・提供と学習相談への対応について

<現状>

項目	実績				
学習情報提供	・富山県生涯学習情報提供システム(とやま学遊ネット)を運用し、県民に各種講座等の学習機会・講師・学習団体など、生涯学習情報を提供した。				
	年度	R4(4~1月)	R5(4~1月)	R6(4~1月)	
	アクセス数	739,239(100%)	687,732(100%)	787,598(100%)	
	内容	一般情報等	260,004(35.2%)	304,256(44.2%)	416,079(52.8%)
		カレッジHP等	255,989(34.6%)	140,898(20.5%)	142,246(18.1%)
公民館ネット		223,246(30.2%)	242,578(35.3%)	229,273(29.1%)	
学習相談	・各種講座の受講相談や、講師照会・講座内容の企画相談、視聴覚教育・機材の利用、映像制作等についての県民からの相談に対応した。				
	年度	R4(4~1月)	R5(4~1月)	R6(4~1月)	
	学習相談件数	10,908(100%)	11,655(100%)	9,501(100%)	
	手段	来所	6,716(61.6%)	7,336(62.9%)	5,820(61.3%)
		電話	3,355(30.8%)	3,166(27.2%)	2,402(25.3%)
メール等		837(7.7%)	1,153(9.9%)	1,279(13.5%)	

<課題>

(1) 「とやま学遊ネット」やSNSを活用し、学習情報提供をより充実させること

「とやま学遊ネット」のアクセス数は、1月末時点で昨年度より約10万件増えている。特に広く県内の生涯学習情報を県民に伝えるという「富山県生涯学習情報提供システム」の本来の趣旨からすれば、一般情報に対するアクセス数が増えているのは好ましい。

一方で、県民カレッジホームページへのアクセス増加率は大きくない。課・地区別に見た場合、アクセス数の伸びが大きい映像センター課では、情報発信の頻度を昨年の倍程度に増やしたことの効果が表れている。

また、より広い層に生涯学習の情報を伝える手段として、今年度より、県民カレッジでは、SNSの利用を本格的に開始している。SNSで頻繁に情報を発信している富山地区センターでは、「とやま学遊ネット」のアクセス数も昨年の同期より増となっており、広い層に対して県民カレッジに関心を持ってもらうことにつなげている。

掲載している情報について、「既に廃止されている施設の情報がまだ掲載されている」との指摘もあり、今年度は施設関係を対象としてデータ更新を行った。

(2) 学習相談の一層の充実を図ること

生涯学習に関する県民からの学習相談の件数は、今年度、新講座や知事講演等のイベントがなかったこともあり、1月末時点で昨年度より約2千件減となっている。

学習相談の手段としては、来所による面談が全体の6割余りを占めている。また、近年は電話による学習相談が減り、メールによるものが増加傾向にある。メールの場合は即答ができないにせよ、迅速かつ丁寧な対応を心がけたい。

2 多彩な学習機会の提供について

<現 状>

項 目	実 績						
講座開講数 受講者総数	・大型講座として、「夏季講座」「ウェルビーイング実現講座（本部）」、 通年講座として、「ウェルビーイング実現講座（地区）」、「つながる学 びわくわく講座」、「自遊塾」、「共学講座」、「映像センター講座」、 委託講座として、「教養講座」、「広域交流講座」を開講した。						
		R元	R2	R3	R4	R5	R6
	講座開講数	275	69	249	245	248	241
受講者総数	5,375	2,014	3,576	3,952	4,900	4,541	
年代別 講座受講者割合	・内容を工夫したり土日開催にしたりして、現役世代を含む幅広い県民に 講座を開講している。						
			～50歳代	60歳代	70歳代～		
	大型 講座	夏季講座	R6	31%	33%	37%	
			R5	43%	22%	35%	
	ウェルビーイング 実現講座（本部）	R6	34%	30%	36%		
		R5	24%	30%	46%		
	通年 講座	ウェルビーイング 実現講座（地区）	R6	8%	17%	75%	
			R5	5%	37%	58%	
		自遊塾	R6	8%	29%	63%	
			R5	9%	32%	59%	
教養講座		R6	1%	25%	74%		
		R5	1%	21%	79%		
オンライン受講	・令和3年度後期よりオンライン配信を開始し、自宅での受講が可能とな った。						
	年度（講座数）	R4(23講座)	R5(23講座)	R6(21講座)			
	オンライン受講者 (受講者に占める割合)	105名 (16.0%)	128名 (16.9%)	146名 (18.6%)			

<課 題>

(1) 県民の学習ニーズに対応した講座を開設し、主催講座の受講者数を増やしていくこと

県民の学習ニーズを踏まえて、今年度は主催講座を241講座開設した。コロナ禍前より減少しているのは、ボランティア講師による自遊塾の講座数が回復していないことが一因である。（令和元年度:99講座→令和6年度:81講座）

自遊塾は近年活発に活動している「出前講座」や、今年度の「開講30周年記念事業」などを通して、広く県民にその存在をアピールした。その結果、例年は数名程度であった新規県民教授候補が、来年度は14名と自遊塾は講座増加の兆しが見られる。

【昨年度運営会議におけるご意見】

町内会において自遊塾の弦楽四重奏団の出前講座を利用した。聴衆は40人ほど、会場は公民館であったが、みんな感激されその時に初めて自遊塾に関心を持っていただいた。

受講者数で見ると、昨年度まではコロナ禍から順調に回復していたが、今年度は減少に転じた。要因として、昨年度開催した知事特別講演などのイベントが今年度はなかったこともあるが、コロナ禍で一度離れた受講層が高齢化などにより受講できなくなったことも要因として考えられる。今後、新たな受講層を開拓することも必要である。

(2) 現役世代の受講者を増やしていくこと

主催講座の受講者の年齢分布を見ると、土日開催の大型講座は、為末大氏の講演に70名余りの高校生が受講したように、若い世代が一定割合を占めるものの、通年講座は70歳代以上の受講者が半数以上を占めている。現役世代が参加しやすいように土日開催としたり、活躍中の講師を招いて講座テーマを工夫したりしたが、受講する現役世代は少なかった。

令和7年度より、小学生とその家族を対象とする「こどもまんなか教室」を開講する。その内容は子供が楽しみながら学べるように自然探検や理科実験などを取り入れた体験型の講座とする。また、忙しい現役世代が参加しやすいように土日開催の単独講座とする。

【昨年度運営会議におけるご意見】

子供向けの講座というのは大変いい考えだと思う。小学校低学年ぐらいだと、親御さんもついてこられるので、親御さん世代も巻き込む機会となる。そういった分野の拡充は重要なことである。

(3) 新しい学び方を提供すること

今年度で4年目となるオンライン配信は、アフターコロナの時代になっても、受講者は少しずつだが増加している。ただし、全受講者に占める割合は2割に到達していない。現在、リアルタイムでのみ配信している配信方法について、地区連携型講座における試験的なオンデマンドの導入を検討したが、データを長期間公開することに講師の了解が得られにくいこと、受講者がリアルタイムに質問などができないこと、受講料や県民カレッジ単位の扱いを対面受講者と同等にするのは難しいことなど、いくつかの課題があり、令和7年度は導入を見送ることとした。

【昨年度運営会議におけるご意見】

新しい学びのツールとしてオンデマンドが取り沙汰されている。自治体の生涯学習センター系の講座でオンデマンドが人気を博している。

(4) 新しい受講申込方法を確立すること

令和4年度より大型講座におけるネット申込みを行っていたが、受講料の支払いは講座当日の現金払いとしていたため、窓口が混雑した。今年度より電子決済システムを導入し、ネット申し込みのキャンセル率減少(R5:20.0%→R6:9.7%)にもつながった。

来年度の後期講座より、高校で開催している「共学講座」においても、電子申請・電子納付が可能となる予定である。

3 映像による学習支援について

<現 状>

映像の貸出等 活用支援	・ 学習教材等の貸出 ※所蔵学習教材数 約 11,000 タイトル			
	年度	R4	R5	R6 (1月末)
	貸出本数	1,308 本	1,241 本	(1,483 本)
	視聴者数	17,330 人	36,296 人	(23,148 人)
優秀映像鑑賞 推進	・ 「とやまデジタル映像ライブラリー」視聴可能件数 2,164 タイトル			
	・ 映像センターYoutube チャンネルの開設 視聴可能件数 23 タイトル			
	・ 優秀映像上映会の開催 (ハイビジョン学習室、各地区センター)			
	年度	R4	R5	R6 (1月末)
	開催数	77 回	80 回	(71 回)
	参加者数	1,061 人	1,586 人	(1,389 人)
ふるさととやまの 映像制作	・ ふるさと富山の自然や文化に関する学習に活用できる郷土学習教材 「昆布ロード 富山 ^県 のあゆみ」 全国全国自作視聴覚教材コンクールへの出品 (R5 優秀賞) 「越中横綱伝 梅ヶ谷と太刀山」 (R4 優秀賞) 「とやまの橋 ～人々の願い・記憶のメモリアル～」等 57 作品 ・ 小学校社会科副読本『きょう土のすがた』対応映像クリップ集 ^{新規}			

<課 題>

(1) 映像学習教材等の新たな利用者を一層増やしていくこと

学童施設へのチラシ配布、各種メディアへの広告掲載やシアター時のCM等広報活動により、貸出本数は大幅に増加した。個人利用が大幅に増加した一方で、学校や企業等大口の団体への貸出は減少したため、視聴者数は減少している。センター所蔵の作品は上映権付であり、団体への貸し出しをより充実させたい。交通安全や防犯、災害対策等充実した作品が多くあり、学校や地域で活用をしてもらえようタイムリーな広報活動に努める。

(2) 映像配信による映像学習教材の新たな利活用を一層推進していくこと

GIGA スクール構想の下で1人1台端末が整備された学校現場において、授業で活用できる地域映像素材を充実させていきたい。本年度より小学校社会科副読本『きょう土のすがた』に対応したコンテンツの制作を始めた。編集委員会や小教研と連携し、授業での活用や自由進度学習等で使ってもらえよう周知に努める。

(3) 優秀映像上映会の新たな参加者を一層増やしていくこと

定期上映会「わくわくシアター」は、月3回(土曜日2回、水曜日)実施し、子供と保護者を対象とした「おやこシアター」は年8回(夏期・冬期各4回)実施した。わくわくシアターについては、世間で関心が高いタイムリーなテーマ設定での上映作品選定や関係団体等への広報活動、おやこシアターについては、保育園・幼稚園等への広報活動等、適宜実施していきたい。

(4) 映像センター施設の新たな利用者を一層増やしていくこと

利用者・団体の固定化の傾向が見られる。次年度よりハイビジョン学習室については利用条件の緩和による利用団体の拡大、映像工房についてはビデオテープ 2025 年問題に関するテープのデジタル変換の需要に対応した新規利用者の獲得に努める。

(5) 制作する映像教材のテーマ・内容を検討すること (3年計画)

(過去のテーマ) 昆布、横綱、橋、水、藤井能三、川、曳山、富山湾、鉄道 など

4 学習交流や学習成果の発表の支援について

<現 状>

項 目	実 績						
学遊祭 キャンパス フェスティバル 参加者	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年10月5日(土)に開催した学遊祭は、県民カレッジ、生涯学習団体協議会、雷鳥会が共催し、県民に対して学習の成果を発表した。ホールでは、「ウェルビーイング実現講座」も行った。 各地区センター講座の受講者等が、日頃の学習の成果を発表することで交流した。 						
		R元	R2	R3	R4	R5	R6
	本 部	1,480	686	472	578	979	1,137
	4 地区	4,068	1,934	1,092	1,215	2,340	2,482
合 計	5,548	2,620	1,564	1,793	3,319	3,619	
本部学遊祭 発表団体	<ul style="list-style-type: none"> 本部学遊祭では、生涯学習団体・自遊塾などの学習成果を披露する場として、ステージにおける発表および展示発表を開催している。 						
		R元	R2	R3	R4	R5	R6
	ス テ ー ジ	13			3	6	7
	展 示	14	3	7	7	5	6
合 計	27	3	7	10	11	13	

<課 題>

(1) 学遊祭、キャンパスフェスティバルへの参加者を増やしていくこと

本部、地区センターとも、コロナ禍で参加者が大きく減少した状況から脱しつつあるものの、コロナ禍前の令和元年と比べると、本部で8割弱、地区センターでは6割程度にとどまっており、かつての賑わいは戻っていない。

本部を例に挙げると、かつて行っていた自遊塾県民教授による「ミニ講座」や、雷鳥会による「お茶席」が中断したままになっており、その復活や新たな催しの企画などを通して、来場者に楽しんでもらえるような仕掛けが必要になっている。

(2) 発表団体が参加できる交流の場を提供すること

ステージ発表や展示等を通じた学習交流は、学遊祭・キャンパスフェスティバルの大きな柱の一つであるが、本部学遊祭での発表団体は、かつての半数程度にとどまっている。コロナで発表を中断した団体には、個別に声がけするなど、回復に努めたい。

一方で、ここでの発表を一つの目標として日々の活動に励んでいる団体・講座もあり、今後、どのように発表団体を多く呼び戻すことができるかが課題である。

【昨年度運営会議におけるご意見】

コロナの影響を受けて、学遊祭ではステージ発表やお茶会ができなくなって、寂しい思いをしていたが、今年からステージ発表は開催できてよかったと思う。